

# しょうがいふくしの仕事

障がい福祉の仕事の魅力を知ろう！



## 障がい福祉サービスで働く職員へのインタビュー

仕事のやりがいは？  
利用者さんとの関わり方は？  
この仕事を目指したきっかけは？  
休日の過ごし方は？  
気分転換の方法は？



## 障がい福祉サービスで働く職員の1日の仕事

1日どのような仕事をしているの？

焼 津 市  
静岡福祉大学



## 大井川 寮（障害者支援施設）

橋本 真奈さん（生活指導員）

### Q 生活指導員は普段どのようなことを行っているか？

A 利用者さんの起床の声かけからトイレや着替え、入浴の介助などを行っています。でも利用者さんができるところは尊重しているので、できないところを介助しています。できるところは伸ばせるようにしています。

### Q この仕事が合っていると思う理由は？

A 年上の方でもあまり気遣いをしないで、一緒に楽しんでいるという感じで接しています。この点が私に合っている、と感じています。柔らかい言い方のほうが利用者さんに伝わります。

### Q この仕事の魅力は？

A 私は毎日笑わせてもらっています。私が介助する側ですが、逆に笑顔にさせてもらって元気をもらっている時もあります。あとはこの施設のことになりますが、ドライブやカラオケに行ったり、グラウンドでサッカーをしたりと、一緒に楽しめる場があるのは魅力に感じています。

### Q 仕事が大変だった時に乗り越える方法は？

A 何か悩んだ時には、他の職員に質問するようにしています。それで安心することがあります。やはり1年目ので分からないことが多いので質問することで安心したり、勉強になったりしています。質問すること、大事だと思います。

### Q 障害者へのイメージの変化

A 最初は大丈夫かな？と思っていましたが、入職してみたら利用者さんがすごいかわいく見えました。私よりも年上の方なのですが、純粋に私に関わってくれて、かわいいし、面白いし、毎日笑わせてもらっています。

### Q この仕事に向いている人は？

A 人と接することが好きな人でいつも笑顔の方、あまり感情の起伏が激しくない方のほうがいいなと思います。気持ちの起伏が激しい方は少し大変だな、と思います。



## ワークすばる（就労継続支援B型）

ほり い さい や  
堀井 彩椰さん

### Q 仕事のやりがいは？

A 利用者さんと関わっていく中で、だんだん相手が言っていることや気持ちがわかるようになることや、利用者さんが困っている時に、自分の支援やフォローで困りごとが解消された時は良かったと思います。

### Q 休日の過ごし方は？

A 同じ仕事に就いている友達と出かけたり話をしたりして、大変なことをお互いに共感し合うとスッキリします。

### Q 利用者の意思が読み取りづらい時の関わり方は？

A 一番は目を見ることです。利用者さんの目がグッと見開いている時は、表情が硬く緊張感が高い時が多いです。そのような時には水を飲んでもらったり、スキンシップを取ったりなどして、まずはお互いの緊張感を取ること。落ち着いて表情が緩んだ時に改めて、時間をかけて、コミュニケーションを取るようにしています。

### Q 大変だったことを乗り越えた方法は？

A 何故このようなこと言うのか、どのような関わりをすればこの利用者さんは落ち着くのか考えながら仕事していました。今は長い期間利用者さんと関わることにより、信頼関係を築けることに気づきました。利用者さんと関わるのが「怖い」と思ったこともありましたが、それでも自分から話しかけていくことが大切だと思っています。

### Q 信頼関係を深めるためにどうしているか？

A 利用者さんとたくさん関わることです。挨拶ひとつでもだんだんその人の様子がわかってきます。利用者さんが、職員に気にかけてもらっていると分かれば、体調が悪い時に職員に話してみようという気持ちになることもあります。

### Q この仕事の魅力は？

A 毎日同じ業務の繰り返しでも、利用者さんから日々違う反応が返ってくるのは本当に楽しいです。そして相手のことを知り、コミュニケーションを取っていくことがこの仕事の魅力だと思います。



## 富士山ドリームビレッジ（就労継続支援B型）

成岡 千湖さん

### Q 仕事のやりがい

A 人とコミュニケーションがうまく取れない、すぐ怒りっぽくなってしまふなどの課題がある利用者さんが多く、どうしたらクリアできるのか考えながら支援しています。今まで出来なかったことができるようになり、利用者さんが成長しているのが目に見えて分かったときにやりがいを感じます。

### Q 利用者の意思が読み取りづらい時の関わり方

A 私からたくさん話しかけるようにしています。全然喋らなかつた人にもどんどん話しかけて、「YES」か「NO」で答えられるような問いかけをすると、「食べた」などと言返ってくる場合があります。言葉が出ない人だったら、単語カードなどを使って気持ちを確認するようにしています。

### Q どのような関わり方をしたら利用者に変化があらわれたのか？

A 一対一で話をする時間を作って、あなたと向き合っているよという姿勢を見せると、結構心を開いていきます。最初は全然喋ってくれなかつた人も向き合う姿勢を見せると、少しずつ本音で話してくれるようになるので「あ～心開いてくれたんだな」と感じます。「今日ちょっと調子悪そうだな」など日常のちょっとした変化に気付くと信頼関係もできてくると思います。

### Q 利用者との信頼関係を深めるためにはどうしているのか？

A 朝、出勤してきて「おはようございます」って言ったときからの変化に気付くことがすごい大事だと思います。「昨日何したの？」など仕事ではない話をするとうちのことや自分の悩みを話してくれるようになります。作業の時は作業する、休憩の時はプライベートの話などをして気にかけてあげるとするのはすごく大事ななと思います。

### Q この仕事の魅力は？

A 一緒に仕事していて、目の前で出来なかつたことが出来るようになるなど、やりがいを感じる事が毎日のように起こります。利用者さんがお金を稼いで「今日これ買ってきたよ～」って見せてくれたり、みんなが頑張ってる姿を見ることができたりするのは、魅力的かなと思います。毎日目標をもって仕事をしてレベルアップする、日々成長する姿を見られるのもすごい魅力的かなと思います。



## 池ちゃん家（ガジュマル放課後等デイサービス）

安藤 浩二さん

### Q 仕事のやりがいは？

A この仕事は飽きないです。流れは毎日同じでも、一人ひとり利用者さんの今日、明日、一週間後の状況は違います。小さな違いを自分たち職員がどのくらい気付けるかが大事になります。やりがいがある分、大変ですが、絶対飽きないと思います。他にも、利用者さんの反応や表現は一人ひとり違うため、その人の表現の仕方を見つけていくのも自分たちであるため、楽しく、やりがいがあるなと思いますね。

### Q 意思が読み取れないときどのような関わり方をしているのか？

A 利用者さんとだんだん関わっていくうちに解ってきます。解らない事はご家族に聞いて情報収集します。例えば興味がある物など音楽を流しながら、しぐさや表情を確認しています。観察することが大事ですね。

### Q こだわりが強い利用者さんには、どのような関わり方をしているのか

A こだわりが強い利用者さんは、話を聞いて気持ちを受け止めることが大事です。一人で行わないことが大事になります。職員間や関係機関で日々情報共有し、連携をとってやっていくとうまくなります。

### Q 信頼関係の深め方は？

A 距離感は利用者さん一人ひとりによって違うため、年齢や性格などを理解したうえで、その人に合ったコミュニケーションをとることによって、徐々に信頼関係を深めていくことができます。

### Q 障害のある利用者さんに関わる上での魅力について

A 障害のある人たちがいるからこそ自分たちも勉強になります。そのような人たちと出会って、ケアさせてもらうことで利用者さんも私たちにいろいろ教えてくれるし、支えてもらっています。支えて支えられての関係になることがあります。このような仕事は、他にはないと思っています。

### Q 休日の過ごし方は？

A 休日は、なるべく休むようにしています。本当に体力勝負だから、自分の体調管理をある程度気を付けないといけない、とは思いますがね。寝たり、自分の趣味をしたりして休日を過ごしています。



## NPO 法人ピース（グループホーム 短期入所）

稲葉 大輔さん

### Q 障害者施設職員を目指したきっかけは？

A 障害を持った家族がいるのはきっかけではあるのですが、大学時代にアウトサイダーアートの展覧会を見たときに、障害者は何かすごい独特の価値観で魅力のある人たちだなと感じました。この人たちともっと関わっていきたくて考えるようになって、障害者の仕事を探していくようになりました。

### Q 利用者さんと信頼関係を深めるためにどうしているか？

A とにかく関わることです。私はなるべく挨拶をして良い時も悪い時も、とにかく話をするようにしています。5秒でも10秒でもいいから、本当に一緒に関わる、真正面から向き合う時間を作っていくことで、関係はできてくると思います。そうしていくとお互いに「ここまででは言わないほうがいいかな」などの距離感や間のようなものが分かってくることがあります。

### Q この仕事の魅力は？

A 多種多様な人たちの中で関われるということです。このような障害のある方もいるので、このような人もある、このような価値観の人もある、こうやって生きているなどを見ることができるところがこの仕事の魅力と感じています。また、一緒に暮らしていく中で、関係ができて、利用者さんがにこっと笑ったときは楽しいというか、魅力的な仕事だと思います。

### Q どういう人がこの仕事に向いていると思うか？

A 全く障害者に関心のない人のほうが向いていると思っています。「障害者って何だろう」から入ってくる人は、知識がない分本人を見てくれます。「この人は何でこういう行動をしているのか？」と疑問に感じて、しっかりあるがままの本人を受け入れてくれます。それができる方はこの仕事に向いているなと思います。

### Q 気分転換の方法は？

A ずっと人という、常に誰かがいる仕事なので、休日はあまり人と関わらないようにしています。なるべく自分のために使うようにしています。生け花を習っているのですが、自分一人の時間、他のことに集中できる時間を作るようにしています。



## 社会福祉法人高風会暁

(就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援事業所)

管理者 望月 彰さん

### Q 仕事のやりがいは？

A 日々奮闘することがある意味やりがいです。また、利用者さんが変わっていく姿や、成長していく姿と一緒に経験していけることで自分自身も成長できることが一番のやりがいになっています。

### Q 利用者の意思が分からない時の関わり方は？

A 本人の表情や仕草、癖など言語的なコミュニケーションだけでなく非言語的なコミュニケーションでの関わりをしています。言葉で発しているニーズとは違う真のニーズを持っているのではないかと、我々専門職は考えていく必要があります。

### Q どのような関わり方をしたら利用者に変化があらわれたのか？

A 本人の話をしっかり聞いて受け止めて否定をしないことです。今できることやできないこと、課題は何かなどを提示した中で今後はどうしていこうかという話をしていきます。一人ひとりに合った関わりをしていながら、様々なアプローチをあの手この手で持つことが重要です。

### Q 大変だったことと乗り越えた方法は？

A 職場の異動に伴って、なかなかうまくいかない部分がありました。その時に上司と相談をして自分が本当は何をしたいか、なぜここまで続けることができたのかを話したことで乗り越えられました。

### Q 利用者さんとの信頼関係の深め方は？

A 利用者さんの訴えをまず聞くことです。本人は何を訴えたいのか、何故その訴えをしているのか、耳を傾けて聞くことが必要です。また、難しい場面に直面した時には、どうしたらよいか一緒に考えていくようにしています。間違ったことをした時にはしっかり謝ること、真正面から向き合うことが本人との関係性を築く上で必要です。

### Q この仕事の魅力は？

A 人と人との関係を築いていく仕事であり、苦しい部分が先行してしまうとは思いますが、その先に見えてくる楽しさや人との関わりのおもしろさのようなことに気づくことができれば、この仕事を楽しく続けていくことができます。

## 近藤智衣さんの1日の業務の流れ

9:00

### 利用者さん受け入れ

業務内容 利用者さんの受け入れ



9:30

### 送迎車が到着

業務内容 あいさつ、車いすのタイヤを拭く、  
バイタルチェック、朝の支度

9:40

### トイレ誘導と水分補給

業務内容 トイレ誘導をする、  
コップ一杯以上水分補給をしてもらう



10:00

### 朝礼

業務内容 体操、連絡帳を読む、今日の予定を伝える

意味 朝の会に参加することで、  
「ゆたかにきた」という認識を持ってもらう

10:30

### レクリエーション(ボッチャ)

業務内容 レクリエーションを楽しんでもらう

留意点 利用者一人ひとり、障害特性や体の使い方、  
手の可動範囲が違うため職員がどの程度  
手助けするのかを見極める



11:15

### トイレ誘導

11:45

### 昼食

▶ 食事をする際に、全介助が必要な人と  
一部介助が必要な人に分けて昼食をとる。  
食事をする際には、むせた誤嚥を防ぐために  
静かな雰囲気になっている。





13:00 職員食事

13:00 余暇時間

- ▶1日中車イスに座り続けると疲れたり褥瘡等になってしまう。  
そのため座ったり横になって過ごす。

14:00 Aさんの歩行訓練

- ▶ケガや転倒、事故に気を付けながら行う。  
日によって利用者さんの状態も異なるため  
声かけの仕方など工夫をしながら行う。



14:30 降所準備

- ▶自分で支度できる人には  
自分で準備をしてもらう。  
水分補給やトイレ、熱を測るようにする。



15:00 保護者の迎え

- ▶直接施設に、利用者さんのご家族が  
お迎えに来るため乗車の手伝いや  
施設での一日の様子を伝える。

15:10 施設の車に乗車

- ▶施設の車で帰宅する利用者さんの  
送迎を2台に分けて行う。



## 川中真治さんの1日の業務の流れ

9:40

### 利用者さんの食事介護や身支度等

- ▶ 食事の見守り → 歯磨きの介助  
→ トイレ(排泄があるか確認) → 髭剃り  
利用者さんができることは自分で行う。  
できないことは職員がサポートする。



- ▶ タンスに1日の流れが書いてあり、  
次に何を行うかが分かるようになっている。



10:00

### ラジオ体操・踊り・ダンス

- ▶ 活動に参加していない人を見て、  
利用者さん同士で声かけを行う。  
和気あいあいの雰囲気。
- ▶ 音楽に合わせて口ずさんでいる  
利用者さんもいた。



10:35

### グラウンド歩行

- ▶ 川中さんと一緒に散歩する利用者さん



11:30

食事、見まわり



14:00

外で運動（曜日によって活動が違ってくる）

▶曲のリズムに合わせて  
一歩一歩、歩いていた。



▶利用者さんといつもの挨拶。  
和気あいあいの雰囲気。



15:00

水分補給

▶記録の時間  
利用者さんの1日の様子を記録する。



社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士  
保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を養成する大学



# 静岡福祉大学

社会福祉学部

福祉心理学科 / 健康福祉学科

子ども学部

子ども学科